

彼女たちは歌う Listen to Her Song

東京芸大「I LOVE YOU」プロジェクト2020 展覧会

08.18.2020 TUE
—
09.06.2020 SUN

12:00-18:00 入場無料
月曜休館 Closed on Mondays

会場：東京藝術大学美術館 常設展示室
東京都台東区上野公園 12-8 東京藝術大学 (美術館)
会期：2020年8月18日(火) - 2020年9月6日(日) 月曜休館
時間：12:00 - 18:00
主催：「彼女たちは歌う」実行委員会
助成：東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト 2020
公益財団法人 花王芸術・科学財団
東京藝術大学ダイバーシティ推進室
キュレーター：荒木 夏実 (東京藝術大学美術学部准教授)
Venue: The Chitratsukan Gallery, Tokyo University of the Arts
12-8, Ueno Park, Taito-ku, Tokyo
Period: Aug 18th, 2020 (Tue.) - Sep 6th (Sun.) Closed on Mondays
Open hours: Noon - 6pm
Organized by: "Listen to Her Song" Executive Committee
Granted by: TOKYO GEIDAI "I LOVE YOU" Project 2020
The Kao Foundation for Arts and Sciences
TUA Office for Diversity & Inclusion
Curator: Natsumi Araki (TUA Associate Professor)
<https://listen-to-her-song.geidai.ac.jp/>
公益財団法人 花王 芸術・科学財団

東京芸大 I LOVE YOU プロジェクト展覧会

「彼女たちは歌う Listen to Her Song」プレスリリース

■展覧会概要

11人の女性アーティストによる差異を超える試み

身体、ジェンダー、ジェネレーション、国、政治、環境、時代。自分と他者の間にあるさまざまな違いを尊重し、物理的・心理的距離を超越して異なるものたちが出会い、交流し、理解しあうことはできるのでしょうか。

本展で紹介する11人の女性アーティストたちは、多様な視点と手法を用いて、あらゆる境界を超える試みを行っています。男と女、人間と非人間、過去の人物や家族をユニークな観点からみつめなおし、性や種、場所や時代を超越した新たな関係性を探求します。

身体やコミュニケーション、社会的なできごとと言及した作品の数々は「女性性」をテーマにするものに限りません。各アーティストの制作へのアプローチもさまざまです。しかし本展では、女性アーティストによる卓越した表現を見ることによって浮かび上がる、ユニークなヴィジョンに注目したいと考えました。

その特徴のひとつとして、「境界」の曖昧さと揺らぎの表現に着目しました。単純に「男性と女性」ではなくLGBTQを含めた多様な性があり、セクシュアリティへの関わりも人によってさまざまであることが明確になった今、また人間中心主義を超えた環境と共存が意識されるようになった現代において、二項対立ではない関係の重要性をアーティストは鋭敏に感じ取っています。例えばスブツニ子！は女性の生理を体験したいと望む少年のストーリーを、遠藤麻衣と百瀬文は2人の共同作品を通して男女やペアという括りを超えた新しいセックスの形について語ります。菅実花と副島しのぶは人間と人形との間、鴻池朋子は人、獣、自然との境界を行き来しながら「生」について問いかけます。小林エリカと金仁淑、山城知佳子は場所や歴史を超えた人やことからの交流の可能性を表します。乾真裕子とユウキユキは「変身」という手段を通して他者を自分のなかに取り込み、世代間に横たわる問題に触れます。

軽々と境界を超え、差異を楽しむ彼女たちの表現に接することで、既存の制度や価値観の不自由さもまた見えてきます。世間の枠組みではなく、自らの身体と思考、感覚、体験を通して発せられるアーティストたちの表現からは、切実な思いや痛み、希望を乗せたそれぞれの「歌」が聞こえてくるようです。ハミングや独唱、それが呼応しあい合唱となった声に耳を傾けながら、未来へと向かうオルタナティブな世界を想像することができるのではないでしょうか。

また、コロナウイルスの影響でリアルに会うことが難しい中、オンラインミーティングを通して、女性として日々感じてきた疑問や体験について参加アーティストたちと議論を重ねてきました。宴会でのお酌の習慣から始まり、結婚や家族制度、ジェンダーとテクノロジーの関係、無痛分娩や卵子凍結に至るまで、さまざまな話題を通してジェンダーをめぐる個人と社会との関係について考えました。そのアーティストたちの言葉を冊子やイベントなどで紹介していく予定です。

■参加作家プロフィール・作品（敬称略・50音順）



乾 真裕子 Mayuko Inui

東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修士課程在学。フェミニズムの視点によるパフォーマンスを用いた映像作品を制作。母親との対話を通して生まれた《月へは帰らない》（2020）を卒業・修了作品展に出品し、平成芸術賞を受賞。



《月へは帰らない》2020



遠藤 麻衣 Mai Endo

東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻博士後期課程在学。自身の結婚をテーマにした《アイ・アム・ノット・フェミニスト！》（2017）をはじめ、演劇や映像など自らの身体を通じた表現によって、社会規範に対する軽やかな問題提起を行う。



《私は蛇に似る》2020



菅 実花 Mika Kan

東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻博士後期課程在学。ラブドールの妊娠をテーマにした《ラブドールは胎児の夢を見るか?》シリーズで注目される。未来の生殖の可能性や、人と人形の境界を探る作品を発表している。



《A Happy Birthday》2019

(参考作品)



金 仁淑 Insook Kim

漢城大学芸術大学院西洋画科写真映像コース修了。自身の身近にある在日コリアンのコミュニティに焦点を当て、家族や朝鮮学校を取材した写真インスタレーションを制作。ドイツに渡った韓国系移民を撮った作品など、独自のテーマをグローバルに展開させている。



《Between Breads and Noodles: Grandfather and I》2014



鴻池 朋子 Tomoko Konoike

芸大卒業後、おもちゃと雑貨の企画に携わり、現在もその延長で絵画、彫刻、映像、手芸など様々な手法でのインスタレーションや、気候や地形をも取り込んだサイトスペシフィックな表現で芸術の根源的な問い直しを試みている。



《インタートラベラー》2017



小林 エリカ Erika Kobayashi

東京大学大学院学際情報学府修士課程修了。著書に小説「トリニティ、トリニティ、トリニティ」「マダム・キュリーと朝食を」、コミックに「光の子ども1~3」など。核の歴史における女性科学者の人物像に迫るなど、独自の視点によって過去と現在をつなぐ。



《彼女たちの戦争1：マリア・スクウォドフスカ=キュリー》
(『ちくま 2020.1.No.586』デザイン：名久井直子) 2020

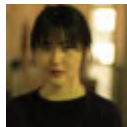


スプツニ子！ Sputnikiko！

ロイヤル・カレッジ・オブ・アート デザインインタラクションズ専攻修了。
東京藝術大学美術学部デザイン科准教授。ジェンダーとテクノロジーの関係をテーマに、男性が中心の科学や医学の世界に疑問を投げかけ、オルタナティブな提案を作品化する。



《生理マシン、タカシの場合。》2010



副島 しのぶ Shinobu Soejima

東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻在学。アジアの民間伝承や民俗文化をリサーチし、民族や宗教、時代を超えて人々が共有するイメージを人形アニメーションや立体作品を通して表現する。

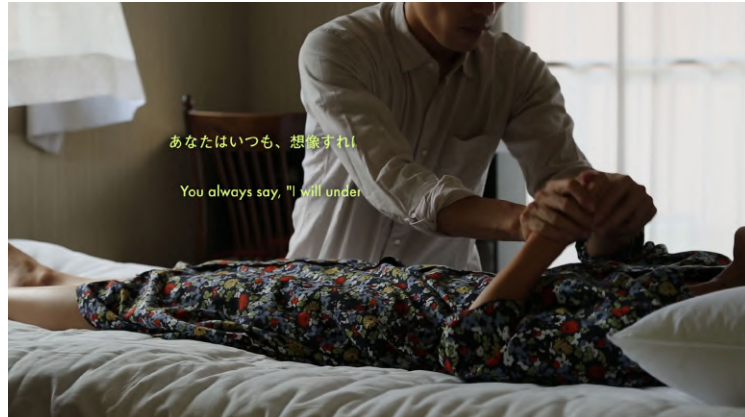


《人形が悲しみを演じるとき》2020



百瀬 文 Aya Momose

武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程修了。撮影者と被写体の関係性やアイデンティティの曖昧さを映像を通して表現する。コミュニケーションの「ズレ」や「はざま」に生じる不確かさと可能性に着目する。



《Social Dance》2019



山城 知佳子 Chikako Yamashiro

沖縄県立芸術大学大学院環境造形専攻修了。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授。写真や映像、インスタレーションを通して太平洋戦争や米軍基地などの沖縄特有の問題を掘り下げる。舞台芸術や映画など精力的に活動領域を広げている。



《チンピン・ウエスタン『家族の表象』》2019



ユウキユキ YuKI YUKI

東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻博士後期課程在学。コスプレ、アイドル、BLなどのサブカルチャーに関わりながら、自分と社会との間に存在するフィルター「欲望の受け皿」に着目する。また母と娘の間に生じる束縛や閉塞感を表す作品も発表している。



《あなたのために、》2020



遠藤麻衣×百瀬文 Mai Endo x Aya Momose

《Love Condition》は遠藤と百瀬によるコラボレーション作品。
2人が対話しながら粘土で「理想の性器」を制作。



《Love Condition》2020

■ イベント開催情報

8月30日 14:00~(予定) トークイベント

ゲスト：上野千鶴子 (社会学者／東京大学名誉教授)

参加作家3名と、社会学者で女性学のパイオニア上野千鶴子氏がトークに登壇予定です。
詳細はホームページに追って掲載します。

■ 開催概要

彼女たちは歌う

会場：東京藝術大学美術館陳列館
東京都台東区上野公園12-8東京藝術大学(美術学部)
会期：2020年8月18日(火)ー9月6日(日) ※月曜休館
時間：12:00ー18:00
主催：「彼女たちは歌う」実行委員会
助成：東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト2020
公益財団法人 花王芸術・科学財団
東京藝術大学ダイバーシティ推進室
キュレーター：荒木 夏実 (東京藝術大学美術学部准教授)

Listen to Her Song

Venue：The Chinretsukan Gallery, Tokyo University of the Arts
12-8, Ueno Park, Taito-ku, Tokyo
Period：Aug 18th, 2020(Tue.)ーSep 6th (Sun.) Closed on Mondays
Open hours：Noonー6pm
Organized by：“Listen to Her Song” Executive Committee
Granted by：TOKYO GEIDAI “I LOVE YOU” Project 2020
The Kao Foundation for Arts and Sciences
TUA Office for Diversity & Inclusion
Curator：Natsumi Araki (TUA Associate Professor)

参加アーティストとゲストによるトークイベントを予定しています。
詳細情報はホームページに掲載します。

<https://listen-to-her-song.geidai.ac.jp/>
(展覧会公式HP)

https://twitter.com/Listen2Her_Song
(展覧会公式Twitter)

本展に関するお問い合わせは listen-to-her-song.info@gmail.com までメールにてお寄せください。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、スケジュール等変更の可能性があります。
展覧会HPでのご確認をお願いいたします。

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

